

2021年7月9日

お客さま各位

帯広信用金庫

「普通預金規定」等の改定のお知らせ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当金庫は、令和3年7月20日（火）より、少額残高口座の解約手続きにおける「印鑑不要化」に伴い、普通預金規定等を下記のとおり改定させていただきます。

なお、改定後の規定は、本改定前よりお取引いただいているお客様にも適用させていただきます。

記

改定となる規定	<ul style="list-style-type: none">・普通預金規定・貯蓄預金規定・納税準備預金規定
主な改定内容	<ul style="list-style-type: none">・少額残高口座の解約手続きにおける「印鑑不要化」に伴い、「預金の払戻し」、「解約等」の条項の一部を変更・追加（新設）しました。・各条項の下線部が今回改定されております。
改定日	<ul style="list-style-type: none">・令和3年7月20日（火）

以上



1. 普通預金規定

改定後

1. 反社会的勢力との取引拒絶

普通預金および決済用普通預金〔無利息型〕（以下これらを「この預金」といいます。）口座は、第13条第4項第1号、第2号AからFおよび第3号AからEのいずれにも該当しない場合に利用することができ、第13条第4項第1号、第2号AからFまたは、第3号AからEの一にでも該当する場合には、当金庫はこの預金口座の開設をお断りするものとします。

6. 預金の払戻し

(1) この預金を払戻すときは、当金庫所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに提出してください。

(2) 前項に定める記名押印は、個人である預金者本人による手続きの場合に限り、当金庫が認めたときは、本人の署名によってこれに替えることができます。

(3) 前二項の払戻しの手続に加え、当該預金の払戻しを受けることについて正当な権限を有することを確認するための本人確認書類の提示等の手続を求めることがあります。この場合、当金庫が必要と認めるときは、この確認ができるまでは払戻しを行いません。

(4) この預金口座から各種料金等の自動支払いをするときは、あらかじめ当金庫所定の手続をしてください。

(5) 同日に数件の支払いをする場合にその総額が預金残高をこえるときは、そのいずれを支払うかは当金庫の任意とします。

13. 解約等

(1) この預金を解約する場合には、通帳および届出の印章を持参のうえ、当店に申出てください。

(2) 前項に定める届出の印章の持参は、個人である預金者本人による手続きの場合に限り、当金庫が認めたときは、本人の署名によってこれに替えることができます。

2. 貯蓄預金規定

改定後

1. 反社会的勢力との取引拒絶

貯蓄預金（以下「この預金」といいます。）口座は、第14条第4項第1号、第2号AからFおよび第3号AからEのいずれにも該当しない場合に利用することができ、第14条第4項第1号、第2号AからFまたは第3号AからEの一にでも該当する場合には、当金庫はこの預金口座の開設をお断りするものとします。

6. 預金の払戻し

(1) この預金を払戻すときは、当金庫所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに提出してください。

(2) 前項に定める記名押印は、個人である預金者本人による手続きの場合に限り、当金庫が認めたときは、本人の署名によってこれに替えることができます。

(3) 前二項の払戻しの手続に加え、当該預金の払戻しを受けることについて正当な権限を有することを確認するための本人確認書類の提示等の手続を求めることがあります。この場合、当金庫が必要と認めるときは、この確認ができるまでは払戻しを行いません。

(4) この預金口座から各種料金等の自動支払いをするときは、あらかじめ当金庫所定の手続をしてください。

(5) 同日に数件の支払いをする場合にその総額が預金残高をこえるときは、そのいずれを支払うかは当金庫の任意とします。

13. 解約等

(1) この預金を解約する場合には、通帳および届出の印章を持参のうえ、当店に申出てください。

(2) 前項に定める届出の印章の持参は、個人である預金者本人による手続きの場合に限り、当金庫が認めたときは、本人の署名によってこれに替えることができます。

3. 納税準備預金規定

改 定 後

1. 反社会的勢力との取引拒絶

納税準備預金（以下「この預金」といいます。）口座は、第 14 条第 4 項第 1 号、第 2 号 A から F および第 3 号 A から E のいずれにも該当しない場合に利用することができ、第 14 条第 4 項第 1 号、第 2 号 A から F または第 3 号 A から E の一にでも該当する場合には、当金庫はこの預金口座の開設をお断りするものとします。

6. 預金の払戻し

(1) この預金を払戻すときは、当金庫所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに提出してください。

(2) 前項に定める記名押印は、個人である預金者本人による手続きの場合に限り、当金庫が認めたときは、本人の署名によってこれに替えることができます。

(3) 前二項の払戻しの手続に加え、当該預金の払戻しを受けることについて正当な権限を有することを確認するための本人確認書類の提示等の手続を求めることがあります。この場合、当金庫が必要と認めるときは、この確認ができるまでは払戻しを行いません。

(4) この預金口座から各種料金等の自動支払いをするときは、あらかじめ当金庫所定の手続をしてください。

(5) 同日に数件の支払いをする場合にその総額が預金残高をこえるときは、そのいずれを支払うかは当金庫の任意とします。

13. 解約等

(1) この預金を解約する場合には、通帳および届出の印章を持参のうえ、当店に申出てください。

(2) 前項に定める届出の印章の持参は、個人である預金者本人による手続きの場合に限り、当金庫が認めたときは、本人の署名によってこれに替えることができます。